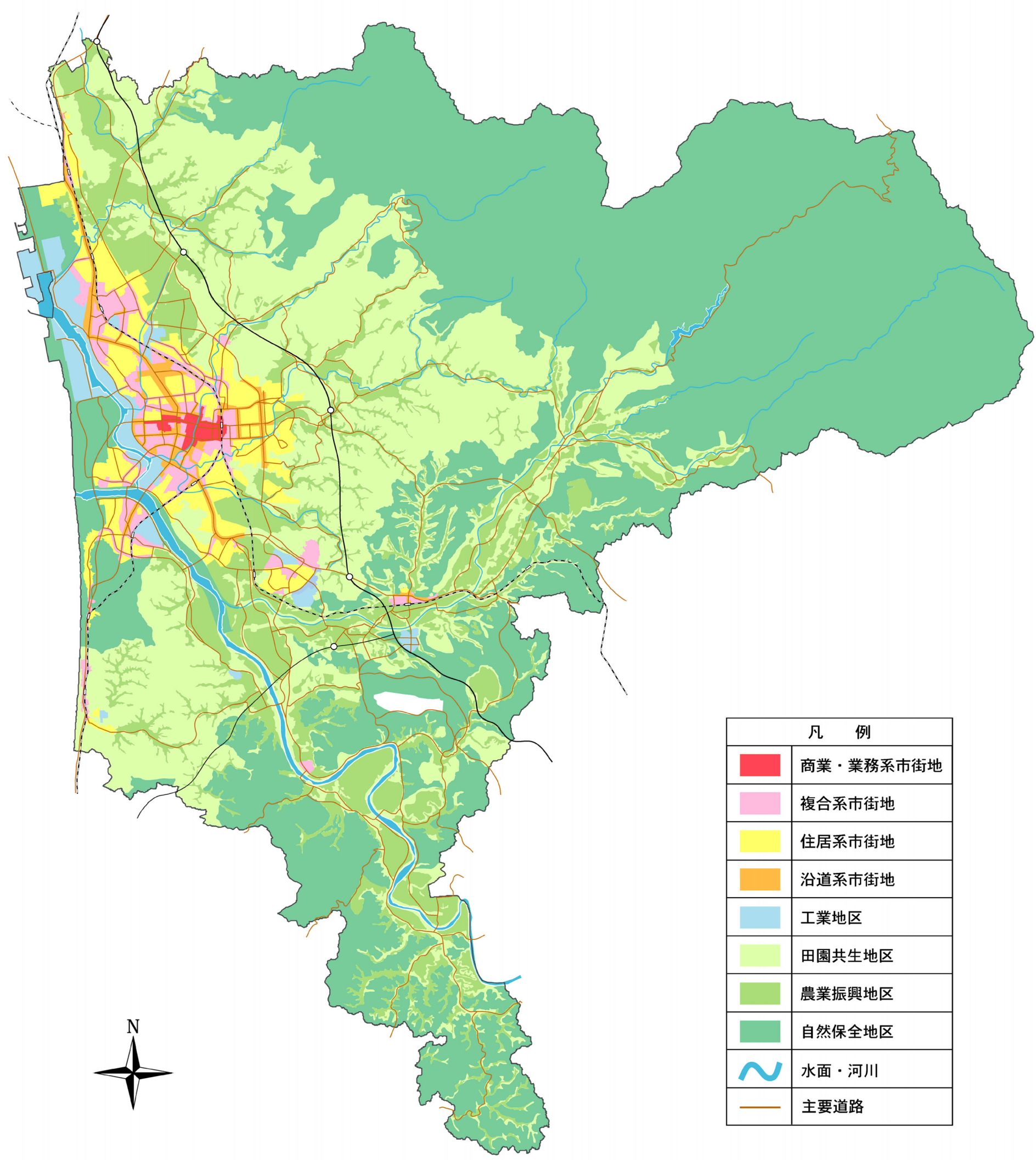


(参考) 秋田市土地利用構想図



凡 例	
	商業・業務系市街地
	複合系市街地
	住居系市街地
	沿道系市街地
	工業地区
	田園共生地区
	農業振興地区
	自然保全地区
	水面・河川
	主要道路

（参考）市土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標と利用区分ごとの地域別の概要一覧

区 分	計 ※ 端数処理をして いるため「計」 は一致しない。	農 用 地 農地法第2条第1項 に定める農地および 採草放牧地	森 林 国有林および民有林	原 野 耕作の方法によら ないで、雑草、灌木等 の生育する土地	水面・河川・水路 湖沼、ため池等、河 川、農業用排水路 敷	道 路 一般道路、農道およ び林道（私道や港湾 道路等を除く）	宅 地 住宅地、工業用地、その他の宅地（店舗・事務所等の用地）	そ の 他 公共・公益施設、海岸および沿 岸海域、観光・レクリエーショ ン用地、造成済の低未利用地等
平成19年 （基準年）	90,567ha（100.0%）	9,675ha（10.7%）	62,591ha（69.1%）	63ha（0.1%）	3,539ha（3.9%）	3,338ha（3.7%）	5,765ha（6.4%）	5,596ha（6.2%）
平成32年 （目標年）	90,567ha（100.0%）	9,605ha（10.6%）	62,467ha（69.0%）	61ha（0.1%）	3,545ha（3.9%）	3,551ha（3.9%）	5,862ha（6.5%）	5,476ha（6.0%）
比 較	0ha（0.0%）	▲70ha（▲0.7%）	▲124ha（▲0.2%）	▲2ha（▲3.2%）	6ha（0.2%）	213ha（6.4%）	97ha（1.7%）	▲120ha（▲2.1%）
中 央 地 域		・民間宅地開発等により、減少が見込まれる。	・森林ははほとんど存在しておらず、増減は見込まれない。	・原野はほとんど存在しておらず、増減は見込まれない。	・旭川や草生津川などの河川整備に伴う増加により、若干の増加が見込まれる。	・都市計画道路秋田環状線、外旭川新川線、川尻広面線や民間の宅地開発等に伴う道路整備により、増加が見込まれる。	・住宅地は、土地区画整理事業に伴う一般道路の整備による減少が見込まれるが、造成済み宅地での建築や民間宅地開発等により、結果として増加が見込まれる。 ・工業用地は、雄物川沿いの工業地や幹線道路沿道の低未利用地における企業誘致に伴い、若干の増加が見込まれる。 ・その他の宅地は、小売店舗の減少が見込まれるが、中心市街地の低未利用地や幹線道路沿道における商業施設の進出に伴う増加により、結果としてほぼ同程度の面積で推移すると見込まれる。	・公共公益施設や公園等の整備による増加が見込まれるが、低未利用地の活用などにより、結果として減少が見込まれる。 ・千秋公園や八橋運動公園などがある貴重な緑地空間については、本地域の貴重な緑資源として、今後も積極的な保全・活用を図る。
東 部 地 域		・民間宅地開発等により、若干の減少が見込まれる。	・林道の整備等により、減少が見込まれる。	・一般道路の整備により、若干の減少が見込まれる。	・一般道路の整備に伴う水路の減少が見込まれるが、旭川や太平川などの河川整備に伴う増加により、若干の増加が見込まれる。	・秋田駅東地区の土地区画整理事業の進展に伴う一般道路の整備、郊外部における林道の整備により増加が見込まれる。	・住宅地は、秋田駅東地区の土地区画整理事業の進展に伴う減少が見込まれるが、造成済み住宅団地における建築により、結果として増加が見込まれる。 ・工業用地は、市街地内の既存工業用地の維持により、ほぼ変化はないと見込まれる。 ・その他の宅地は、小売店舗の減少や一般道路の整備に伴う減少が見込まれるが、幹線道路沿道を中心とした商業施設の進出に伴う増加により、結果としてほぼ同程度の面積で推移すると見込まれる。	・民間宅地開発による未利用地の解消により、減少が見込まれる。
西 部 地 域		・下浜地区における一般道路の整備（下浜道路）や市街地での民間宅地開発等により、減少が見込まれる。	・丘陵地における林道の整備により、若干の減少が見込まれる。	・民間開発等に伴う減少が見込まれるが、ほぼ変化はない。	・雄物川の整備や丘陵地に点在する堤の整備・改修により、若干の増加が見込まれる。	・下浜地区における一般道路の整備（下浜道路）により、増加が見込まれる。	・住宅地は、造成済み住宅団地における建築に伴う増加が見込まれる。 ・工業用地については、下浜工業団地や豊岩工業団地への企業誘致による増加が見込まれる。 ・その他の宅地については、地域の中心拠点となる新屋地区への集約化の促進により、結果として減少が見込まれる。	・西部市民サービスセンター等の公共公益施設の整備に伴う増加が見込まれるが、秋田空港跡地の有効活用等に伴い、減少が見込まれる。
南 部 地 域		・御所野ニュータウンでの開発等により減少が見込まれる。	・御所野ニュータウンでの開発の進展や一般道路の整備等に伴う減少が見込まれる。	・民間開発等に伴う減少が見込まれるが、ほぼ変化はない。	・雄物川や岩見川などの河川整備、農業基盤整備に伴う水路整備により、若干の増加が見込まれる。	・御所野ニュータウンでの開発に伴う道路整備や一般道路の整備により、増加が見込まれる。	・住宅地については、御所野ニュータウンや造成済みの住宅団地における建築に伴う増加が見込まれる。 ・工業用地は、御所野ニュータウンの工業団地および流通業務団地への企業誘致による増加が見込まれる。 ・その他の宅地は、御所野ニュータウンや幹線道路沿道への集約化の促進により、結果として若干の減少が見込まれる。	・住宅団地における未利用地の解消、農業試験場の有効活用等に伴い、減少が見込まれる。
北 部 地 域		・秋田市斎場の整備や市街地での民間宅地開発等により、減少が見込まれる。	・一般市道や林道の整備に伴う若干の減少が見込まれる。	・市の墓地整備により、若干の減少が見込まれる。	・草生津川の河川整備や農業基盤整備に伴う水路整備により、若干の増加が見込まれる。	・都市計画道路土崎駅前線、林道の整備、民間の宅地開発等に伴う道路整備により、増加が見込まれる。	・住宅地は、生活利便性の高い土崎地区や幹線道路沿道の一部地域における民間宅地開発等による増加が見込まれる。 ・工業用地は、秋田港周辺の工業団地や幹線道路沿道の低未利用地における企業誘致に伴い、増加が見込まれる。 ・その他の宅地は、地域の中心拠点となる土崎地区や幹線道路沿道への集約化の促進により、結果として減少が見込まれる。	・北部市民サービスセンター等の公共公益施設の整備、工業団地の未利用地の解消や公共公益施設の統廃合により、減少が見込まれる。
河 辺 地 域		・既存集落内の耕作放棄地の転換等により、若干の減少が見込まれる。	・林道の整備等により、減少が見込まれる。	・民間開発等に伴う減少が見込まれるが、ほぼ変化はない。	・治水対策による岩見川の環境整備や農業基盤整備に伴う水路整備により、若干の増加が見込まれる。	・林道の整備等により、増加が見込まれる。	・住宅地は、地域の中心拠点となる和田地区での民間宅地開発の促進による増加が見込まれる。 ・工業用地は、七曲臨空港工業団地への企業誘致による増加が見込まれる。 ・その他の宅地は、地域の中心拠点となる和田地区への集積・誘導を促進するが、結果として減少が見込まれる。	・公共公益施設や自然環境を活かしたレクリエーション施設等の整備、七曲臨空港工業団地の未利用地の解消により減少が見込まれる。
雄 和 地 域		・県道秋田雄和本荘線の整備や、既存集落内の耕作放棄地の転換等により減少が見込まれる。	・林道の整備等により、減少が見込まれる。	・民間開発等に伴う減少が見込まれるが、ほぼ変化はない。	・親水空間の創出による雄物川の整備や農業基盤整備に伴う水路整備により、若干の増加が見込まれる。	・県道秋田雄和本荘線や林道の整備などにより、増加が見込まれる。	・住宅地は、地域の中心拠点となる妙法地区への宅地の集約化に伴う増減により、結果としてほぼ同程度の面積で推移すると見込まれる。 ・工業用地は、ほぼ変化はないと見込まれる。 ・その他の宅地は、妙法地区への集積・誘導を促進するが、結果として減少が見込まれる。	・公共公益施設等の整備、公共公益施設の統廃合はあるが、結果としてほぼ同程度の面積で推移すると見込まれる。